

大腸内視鏡検査前処置の分割投与方法と一括投与方法の比較

きくち胃腸科内科クリニック
 内視鏡技師 ○桐原洋子、徳永由美子
 看護師 菊池エリ、中西千代美、松尾麻美、田中知恵
 医師 菊池陽介、古賀有希

【はじめに】 当院では年間920件の大腸内視鏡検査(以下TCS)を行っている。前処置薬として検査前日にラクソデート®液、当日にクエン酸マグネシウム製剤マグコロール®P(以下マグ®P)を用いている。今回当院ではさらなる前処置の改善をめざしマグ®Pを用いた分割投与方法及び当日にラクソデート®液ガスモチン®錠の投与を工夫し、その有効性を検討した。

【目的】 TCSの前処置法としてマグ®Pを用いた分割投与方法と一括投与方法の比較

【期間】 H26年7月～10月

【対象】 当院でTCSを受けた80歳未満60名(大腸術後、炎症性腸疾患を除く)

【方法】

	前日	当日
分割投与A群30名	食事:検査食(昼食・夕食)	8時半:マグ®P900ml
(一括投与経験者)	夜:マグ®P900ml	ラクソデート®液10ml+ガスモチン®錠20mg
一括投与B群30名	食事:検査食(昼食・夕食)	8時半:マグ®P1800ml
	夜:ラクソデート®液10ml	ガスモチン®錠20mg

上記対象者へ服用量の感想、排便回数、睡眠、前処置全体の感想、自覚症状、分割投与と一括投与のどちらが良いかのアンケート調査、内視鏡施行医による腸管洗浄効果の評価。

【結果・考察】

アンケート内容	回答	A群(人)	B群(人)
服用量について	問題なかった	27	22
	何とか飲めた	3	7
	飲めなかった	0	1
排便回数	6回～10回	11	18
	11回～16回	19	12
睡眠	よく眠れた	22	28
	あまり眠れなかった	8	2
前処置全体について	問題ない	28	26
	少し辛かった	2	3
	とても辛かった	0	1
自覚症状	腹痛	1	4
	腹痛+嘔気+冷汗	0	2
洗浄評価	優	4	2
	良	21	18
	可	5	10
	不可	0	0
どちらが良いか?	分割投与	25	
	一括投与	4	
	どちらでも良い	1	

服用量についてはA群が半量ずつ服用することで苦痛の軽減ができた。

排便回数はA群が多く腸管内洗浄評価が良好であった。しかし夜間排便回数が多く睡眠を妨げる結果となった。腹痛などの自覚症状がB群に多くみられ前日服用のラクソデート®液によるものと思われる。

【結語】分割投与は一括投与方法と比較し有効な前処置である。

しかし夜間排便回数の増加により高齢者には安全面などの配慮が必要である。

【連絡先】 〒835-0024福岡県みやま市瀬高町下庄2175 TEL:0944-63-2223